

日本一の白樺林が生み出した平庭高原「森の恵み・白樺の一滴」活用推進プロジェクト事業

概要

提案の背景: 過疎化や超高齢化が進む中、産業の振興及び雇用の創出、観光客の増加をめざす。そのために、平庭高原の域資源を掘り起こし、白樺の樹液を活用した特産品づくりを進め、過疎地に新しい産業を創出し地域の活性化を図りたい。

事業の内容

事業の内容

- 平庭高原「森の恵み・白樺の一滴」活用推進協議会設置による推進体制整備。
- 日本一の白樺林を活用した産業創出の検討による地域経済の振興を図る。
- 白樺の樹液の商品化等に向けた活用分析・商品開発の取り組み。

総事業費

10.5百万円

ポイント

平庭高原の白樺林を活用した産業の創出

- ☞ 白樺樹液の長期間保存を可能とすることで商品開発に結び付けられるか。
- ☞ 白樺「日本一」を自負するも、平庭高原＝白樺林の知名度・認知度は低い。

事業の成果

- 山形町平庭高原の地域活性化のため新たな組織を結成することができた。
- 白樺樹液の保存活用の確立により、産業振興と雇用創出に大きな期待。
- 平庭高原の白樺林を「日本一の白樺美林」として調査・証明することができた。
(現地調査と衛星画像解析により、白樺生育本数310,846本と推計。)

岩手県久慈市



協議会設立総会

商品・料理等の開発



山ぶどう
白樺ジュース

森の恵み・
白樺の一滴



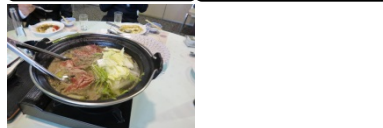
白樺樹液
炭酸パック

白樺
コースター



白樺カレー

白樺ラーメン



白樺樹液の短角
牛しゃぶしゃぶ